

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2022年11月16日

訪日外客数（2022年10月推計値）

～ 10月：498,600人、50万人に迫る～

- 10月11日より日本政府が個人旅行の受入れや査証免除措置の再開等を実施したことを受け、10月の訪日外客数は498,600人と、前月206,500人から倍以上の伸びとなった。
- 中国を除く東アジア市場で訪日外客数が前月から大きく増加したこと、また、東南アジアおよび欧米豪中東市場においても多くの市場で順調な回復が見られたことが今月の訪日外客数の大幅な押し上げの要因となった。なお、航空便においては増便の傾向が見られるが、新型コロナウイルス感染症拡大以前との比較では回復途上にある。
- 観光立国の復活に向けて、観光地・観光産業について持続可能な形で「稼ぐ力」を高めるとともに、地方誘客や消費拡大を促進しつつインバウンドのV字回復を図る必要がある。個人旅行の再開や入国手続き等の実用情報の的確な発信と併せ、これからの訪日観光の柱となるサステナブルツーリズム等の情報発信やMICE誘致等の取組を強化していくことが求められる。

*本資料では、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。

*月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」参照のこと。

https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

「月別推計値(Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数(2003年～2022年)(PDF・Excel)」

*最新の市場動向トピックスは下記リンク参照のこと。(※9・10月のトピックスは2022年11月末頃に掲載予定。)

https://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html

*訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ

TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2022年 訪日外客数・出国日本人数（対2019年比）

2022 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers（Compared to 2019）

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization(JNTO)

2022年11月16日
16/Nov/2022

(単位: 人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2019	2022	伸率 Change %	2019	2022	伸率 Change %
1 Jan.	2,689,339 (2,345,029)	17,766 (649)	-99.3 (-100.0)	1,452,157	74,982	-94.8
2 Feb.	2,604,322 (2,341,479)	16,719 (999)	-99.4 (-100.0)	1,534,792	46,932	-96.9
3 Mar.	2,760,136 (2,411,650)	66,121 (3,371)	-97.6 (-99.9)	1,929,915	70,678	-96.3
4 Apr.	2,926,685 (2,640,569)	139,548 (6,166)	-95.2 (-99.8)	1,666,546	129,168	-92.2
5 May	2,773,091 (2,455,865)	147,046 (7,308)	-94.7 (-99.7)	1,437,929	134,013	-90.7
6 Jun.	2,880,041 (2,614,533)	120,430 (12,405)	-95.8 (-99.5)	1,520,993	171,529	-88.7
7 Jul.	2,991,189 (2,713,329)	144,578 (30,315)	-95.2 (-98.9)	1,659,166	277,945	-83.2
8 Aug.	2,520,134 (2,206,746)	169,902 (31,441)	-93.3 (-98.6)	2,109,568	386,412	-81.7
9 Sep.	2,272,883 (1,913,105)	* 206,500	* -90.9	1,751,477	319,165	-81.8
10 Oct.	2,496,568 (2,177,382)	* 498,600	* -80.0	1,663,474	* 349,600	* -79.0
11 Nov.	2,441,274 (2,145,425)			1,642,333		
12 Dec.	2,526,387 (2,292,029)			1,712,319		
1~10 Jan.-Oct.	26,914,388 (23,819,687)	* 1,527,200	* -94.3	16,726,017	* 1,960,400	* -88.3
1~12 Jan.-Dec.	31,882,049 (28,257,141)			20,080,669		

◆注1: 本資料では、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注3: 訪日外客数のうち、2022年の*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2019年の値は確定値である。

◆注4: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注6: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. We compared visitor arrivals figures for 2022 to those for 2019 to get rid of the effect of COVID-19.

◆Note 2. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 3. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2019) and provisional (2022), while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 4. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 5. The figures in () represent the number of tourists among the total.

【参考】2022年 訪日外客数・出国日本人数（対2021年比）

【reference】2022 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers (Compared to 2021)

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

2022年11月16日

16/Nov/2022

(単位:人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2021	2022	伸率 Change %	2021	2022	伸率 Change %
1 Jan.	46,522 (547)	17,766 (649)	-61.8 (18.6)	48,691	74,982	54.0
2 Feb.	7,355 (266)	16,719 (999)	127.3 (275.6)	24,807	46,932	89.2
3 Mar.	12,276 (374)	66,121 (3,371)	438.6 (801.3)	28,896	70,678	144.6
4 Apr.	10,853 (740)	139,548 (6,166)	1185.8 (733.2)	35,905	129,168	259.7
5 May	10,035 (1,057)	147,046 (7,308)	1365.3 (591.4)	30,121	134,013	344.9
6 Jun.	9,251 (1,657)	120,430 (12,405)	1201.8 (648.6)	30,666	171,529	459.3
7 Jul.	51,055 (42,621)	144,578 (30,315)	183.2 (-28.9)	43,184	277,945	543.6
8 Aug.	25,916 (13,304)	169,902 (31,441)	555.6 (136.3)	66,051	386,412	485.0
9 Sep.	17,720 (1,124)	*206,500	*1,065.3	52,366	319,165	509.5
10 Oct.	22,113 (2,287)	*498,600	*2,154.8	50,841	*349,600	*587.6
11 Nov.	20,682 (1,709)			51,774		
12 Dec.	12,084 (701)			48,942		
1~10 Jan.-Oct.	213,096 (63,977)	*1,527,200	*616.7	411,528	*1,960,400	*376.4
1~12 Jan.-Dec.	245,862 (66,387)			512,244		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、2022年の*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値、2021年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2021) and provisional (2022), while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2022年10月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2019年比）

Visitor Arrivals for Oct. 2022 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2019)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2019年 10月	2022年 10月	伸率(%)	2019年 1月～10月	2022年 1月～10月	伸率(%)
総数	Grand Total	2,496,568	498,600	-80.0	26,914,388	1,527,200	-94.3
韓国	South Korea	197,281	122,900	-37.7	5,131,596	241,000	-95.3
中国	China	730,631	21,500	-97.1	8,133,209	134,600	-98.3
台湾	Taiwan	413,701	35,000	-91.5	4,150,231	61,300	-98.5
香港	Hong Kong	180,562	36,200	-80.0	1,841,448	44,900	-97.6
タイ	Thailand	145,333	34,100	-76.5	1,013,776	62,900	-93.8
シンガポール	Singapore	41,937	14,300	-65.9	326,581	24,600	-92.5
マレーシア	Malaysia	48,864	8,800	-82.0	358,355	20,400	-94.3
インドネシア	Indonesia	34,094	11,100	-67.4	316,363	68,400	-78.4
フィリピン	Philippines	64,690	14,800	-77.1	466,809	65,200	-86.0
ベトナム	Vietnam	46,510	30,800	-33.8	422,553	222,400	-47.4
インド	India	13,929	6,000	-56.9	149,294	38,500	-74.2
豪州	Australia	51,563	11,700	-77.3	500,791	26,700	-94.7
米国	U.S.A.	153,363	53,200	-65.3	1,430,370	129,700	-90.9
カナダ	Canada	37,667	9,800	-74.0	306,814	19,400	-93.7
メキシコ	Mexico	7,385	2,000	-72.9	58,752	4,700	-92.0
英国	United Kingdom	68,401	10,300	-84.9	358,820	28,600	-92.0
フランス	France	39,457	11,100	-71.9	291,782	31,200	-89.3
ドイツ	Germany	26,276	8,900	-66.1	203,380	28,300	-86.1
イタリア	Italy	14,731	4,500	-69.5	139,223	13,500	-90.3
スペイン	Spain	13,739	2,800	-79.6	112,413	8,800	-92.2
ロシア	Russia	14,348	1,600	-88.8	98,068	6,800	-93.1
中東地域	Middle East	11,955	4,100	-65.7	79,770	10,100	-87.3
その他	Others	140,151	43,100	-69.2	1,023,990	235,200	-77.0

◆注1: 本資料では、過去の数値との比較に当たっては、COVID-19の影響を避けるため、2019年実績との比較を行っている。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注3: 上記の2019年の数値は確定値、2022年の数値は推計値である。

◆注4: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注5: 中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. We compared visitor arrivals figures for 2022 to those for 2019 to get rid of the effect of COVID-19.

◆Note 2. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 3. Above figures for 2019 are definitive, while figures for 2022 are the preliminary ones estimated by JNTO.

◆Note 4. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

【参考】2022年10月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2021年比）

【reference】 Visitor Arrivals for Oct. 2022 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2021)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2021年 10月	2022年 10月	伸率(%)	2021年 1月～10月	2022年 1月～10月	伸率(%)
総数	Grand Total	22,113	498,600	2154.8	213,096	1,527,200	616.7
韓国	South Korea	1,921	122,900	6297.7	15,862	241,000	1419.4
中国	China	4,009	21,500	436.3	37,286	134,600	261.0
台湾	Taiwan	425	35,000	8135.3	4,350	61,300	1309.2
香港	Hong Kong	144	36,200	25038.9	1,075	44,900	4076.7
タイ	Thailand	195	34,100	17387.2	2,337	62,900	2591.5
シンガポール	Singapore	66	14,300	21566.7	711	24,600	3359.9
マレーシア	Malaysia	237	8,800	3613.1	1,643	20,400	1141.6
インドネシア	Indonesia	454	11,100	2344.9	4,259	68,400	1506.0
フィリピン	Philippines	867	14,800	1607.0	4,843	65,200	1246.3
ベトナム	Vietnam	995	30,800	2995.5	24,441	222,400	809.9
インド	India	1,487	6,000	303.5	6,017	38,500	539.9
豪州	Australia	284	11,700	4019.7	2,981	26,700	795.7
米国	U.S.A.	2,035	53,200	2514.3	17,638	129,700	635.3
カナダ	Canada	302	9,800	3145.0	3,073	19,400	531.3
メキシコ	Mexico	47	2,000	4155.3	1,034	4,700	354.5
英国	United Kingdom	360	10,300	2761.1	6,566	28,600	335.6
フランス	France	423	11,100	2524.1	6,471	31,200	382.2
ドイツ	Germany	352	8,900	2428.4	4,827	28,300	486.3
イタリア	Italy	228	4,500	1873.7	3,296	13,500	309.6
スペイン	Spain	130	2,800	2053.8	2,904	8,800	203.0
ロシア	Russia	346	1,600	362.4	3,375	6,800	101.5
中東地域	Middle East	194	4,100	2013.4	2,639	10,100	282.7
その他	Others	6,612	43,100	551.8	55,468	235,200	324.0

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2021年の数値は確定値、2022年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2021 are definitive, while figures for 2022 are the preliminary ones estimated by JNTO.

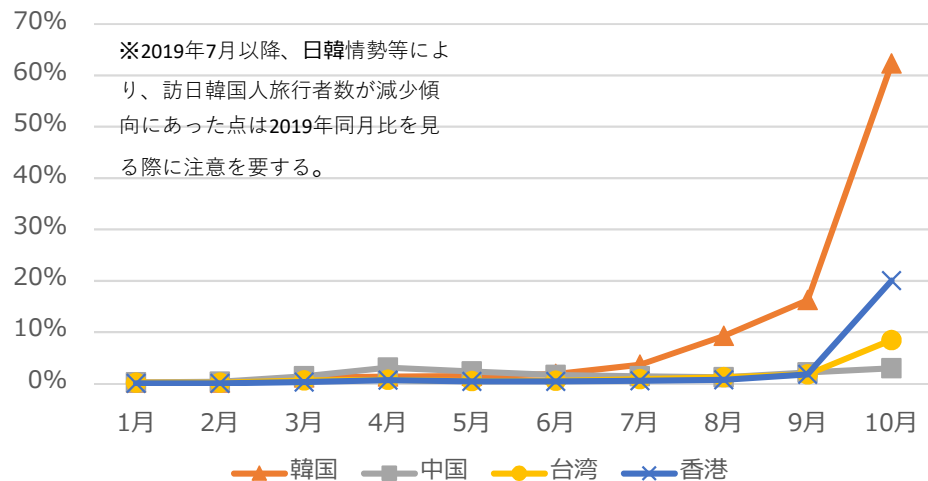
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

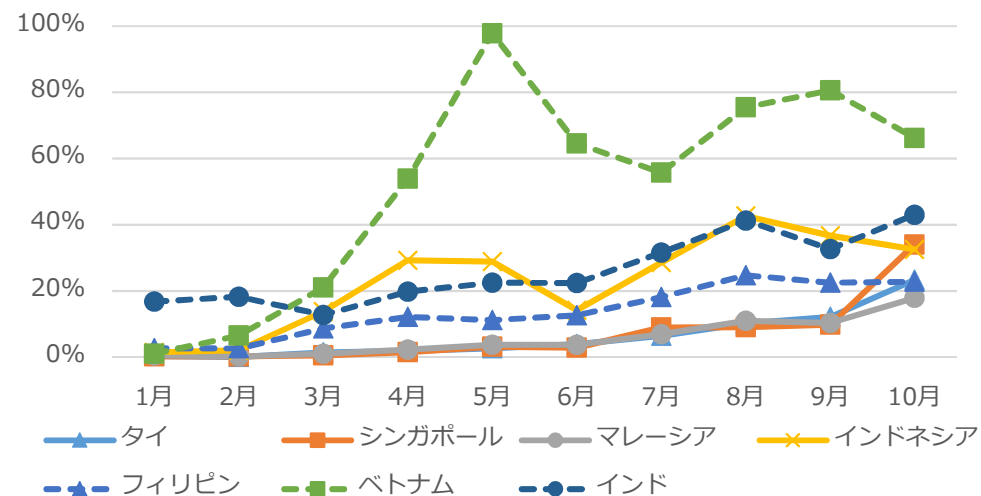
◆Note 4. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

2022年訪日外客推移（2019年同月比）

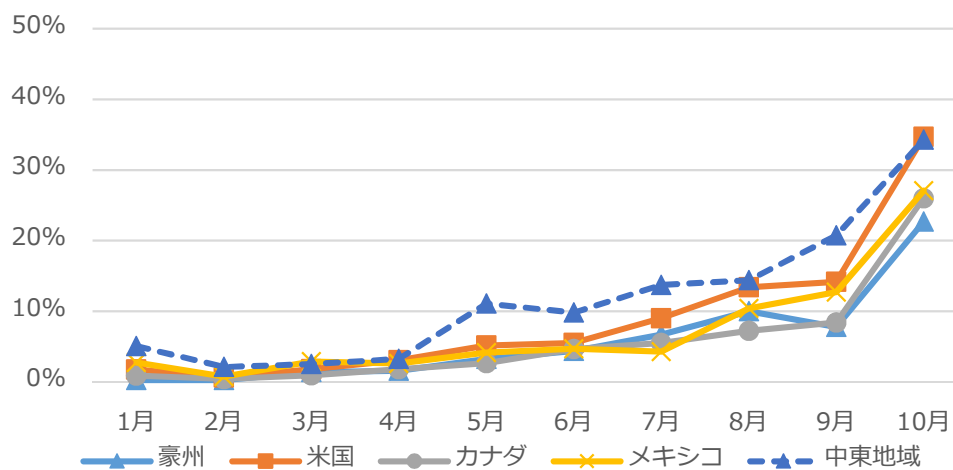
東アジア



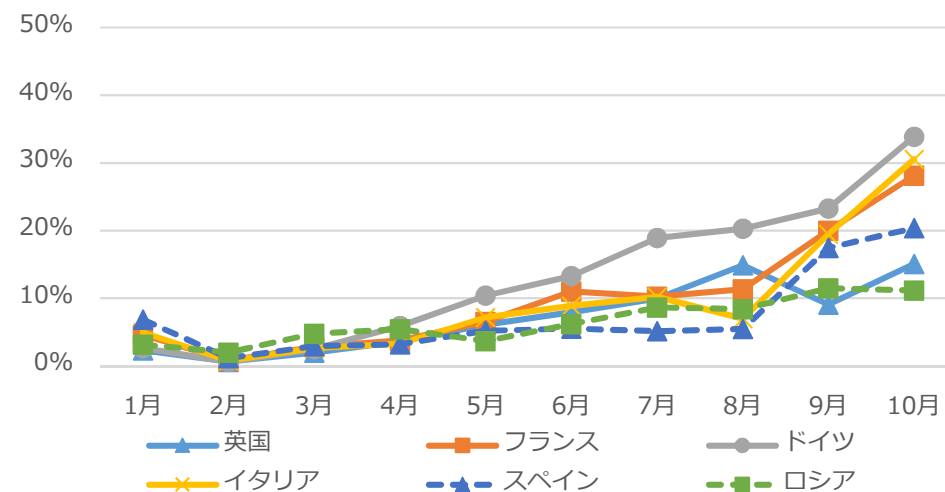
東南アジア



北米・豪州・中東



欧州



地域別訪日旅行市場の概況

参考：本政府は、全ての帰国者・入国者について、ワクチンの接種証明書（3回）又は出国前72時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの提出を求める。査証免除対象国はCOVID-19に対する水際対策措置による査証免除措置停止前と同一となっている。

注）訪日外客数は2022年10月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報（2022年11月9日時点）としている。また、各国の規制については、原則としてワクチン接種完了者が出国・帰国する際に適用される規制のみ記載している。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたことを指し、復便とはCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）禍以降運休となっていた航空路線で2022年10月から運航が再開したことを指す。

全市場共通

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大以降減少した日本路線の航空座席供給量は回復途上にあるほか、物価の高騰や航空券代の高騰、航空・旅行会社を取り巻く人手不足等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、日本側の水際規制緩和、韓国側の出国規制や帰国時のPCR検査義務の撤廃等の影響もあり、訪日外客数は122,900人（対2019年同月比62.3%※）であった。

※2019年7月以降、日韓情勢により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあった点は2019年同月比を見る際に注意を要する。

- ・ 仁川～成田間、仁川～関西間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- 中国は、出国規制や帰国時の入国・行動制限※の継続等があり、訪日外客数は21,500人（対2019年同月比2.9%）となっている。

※中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されている。自国民の日本からの入国については、陰性証明書の取得及び原則として7日間の施設での隔離、3日間の自宅での健康観察、複数回のPCR検査等が求められている。

- ・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大以降、「5つの1政策（1航空会社1か国、1路線、1

週、1便)」により航空便の運航制限が続いているが、北京～成田一部増便等の許可があり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- 台湾は、出国規制や入国・帰国時の行動制限※等があるものの、日本の水際規制緩和、台湾側の入境後のPCR検査廃止や検疫義務の廃止・海外団体旅行禁止措置の撤廃の影響等もあり、訪日外客数は35,000人（対2019年同月比8.5%）であった

※台湾における渡航警戒レベルで、渡航の是非検討等に日本が含まれている。自国民の日本からの入国については、入境後7日間の自主防疫が必要となっている。

- ・桃園～成田間、松山～羽田間の増便、桃園～那覇の復便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- 香港は、帰国時の入国・行動制限※の継続等があるものの、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は36,200人（対2019年同月比20.0%）であった。

※自国民の日本からの入国については、出発前検査、入境時のPCR検査、3日間の医学観察、PCR検査等については入境後複数回の実施が求められている。

- ・香港～成田間の増便、香港～羽田間の復便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

② 東南アジア

- タイは、日本側の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は34,100人（対2019年同月比23.5%）であった。

- ・バンコク～福岡間の復便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- シンガポールは、帰国時の入国制限※の継続等があるものの、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は14,300人（対2019年同月比34.1%）であった。

※自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書の提出が求められている。

- ・シンガポール～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- マレーシアは、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は8,800人（対2019年同月比18.0%）であった。

- ・クアラルンプール～成田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- インドネシアは、帰国時の入国制限[※]の継続、訪日観光査証発給及び査証免除に伴う登録手続きの停滞等があるものの、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は11,100人（対2019年同月比32.6%）であった。

※自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書等の提示が必要となる。

- ・ ジャカルタ～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- フィリピンは、帰国時の入国・行動制限[※]の継続や台風22号の影響等があるものの、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は14,800人（対2019年同月比22.9%）であった。

※自国民の日本からの入国については、陰性証明書等の提示、到着日を初日として7日目までセルフモニタリングの実施が必要となるが、ワクチン追加接種済者は陰性証明書の提示が不要となる。

- ・ マニラ～成田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- ベトナムは、帰国時の行動制限^{※1}の継続等があり、訪日外客数は30,800人（対2019年同月比66.2%^{※2}）であった。

※1 自国民の日本からの入国については、入国から10日目までの自主的な健康観察等が求められる。

※2 ベトナムは2019年以前も留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であった点は2019年同月比を見る際に注意を要する。

- ・ ホーチミン～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- インドは、帰国時の入国・行動制限[※]の継続や、訪日観光査証発給の停滞等の影響があるものの、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は6,000人（対2019年同月比43.1%）であった。

※自国民の日本からの入国については、ワクチン接種証明書または陰性証明書の提示、14日間のセルフモニタリングの実施等が必要となる。

- ・ デリー～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

2. 豪州、北米

- 豪州は、帰国時の入国制限[※]の継続等があるものの、日本の水際規制緩和、日本で開催された日豪間の国際会議開催の影響等もあり、訪日外客数は11,700人（対2019年同月比22.7%）であった。

※自国民の日本からの入国については、州や地域によって、到着後24時間以内のPCR検査等が推奨されている。

・シドニー～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- 米国は、帰国時の入国制限*の継続等があるものの、日本の水際規制緩和、円安米ドル高の進行による影響等もあり、訪日外客数は53,200人（対2019年同月比34.7%）であった。

※自国民の日本からの入国については、入国後、3～5日以内の検査等が推奨されている。

・ロサンゼルス～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- カナダは、カナダと日本の水際規制緩和等の影響もあり、訪日外客数は9,800人（対2019年同月比26.0%）であった。

・バンクーバー～成田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- メキシコは、日本側の水際規制緩和、円安メキシコペソ高の進行等の影響もあり、当月の訪日外客数は2,000人（対2019年同月比27.1%）であった。

・日本への直行便数は前年同月比を維持している。

3. 欧州

- 英国は、ヒースロー空港による航空各社に向けた搭乗者数抑制要請等があるものの、日本側の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は10,300人（対2019年同月比15.1%）であった。

・ヒースロー～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- フランスは、日本側の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は11,100人（対2019年同月比28.1%）であった。

・パリ～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- ドイツは、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の再拡大による規制強化の動き等があるものの、日本側の水際規制緩和等の影響もあり、訪日外客数は8,900人（対2019年同月比33.9%）であった。

・フランクフルト～羽田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。

- イタリアは、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は4,500人（対2019年同月比

30.5%)であった。

・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大以降、日本への直行便は運休が続いている。

- スペインは、日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は2,800人（対2019年同月比20.4%）であった。

・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大以降、日本への直行便は運休が続いている。

- ロシアは、ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いている。訪日外客数は1,600人（対2019年同月比11.2%）であった。

・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の拡大以降、日本への直行便は運休が続いている。

4. 中東地域

- 中東地域は、帰国時の入国制限[※]の継続等があるものの、中東地域各国における行動規制緩和や日本の水際規制緩和の影響等もあり、訪日外客数は4,100人（対2019年同月比34.3%）であった

※自国民の日本からの入国については、一部の中東地域の国で指定アプリのダウンロード等が必要となる。

・ ドバイ～成田間の増便などもあり、日本への直行便数は前年同月に比べ回復傾向にある。